

ヘルスアセスメント特論（高度実践）

[講義・実習] 1年・2年 前期 選択 30時間 2単

《履修上の留意事項》ヘルスアセスメント特論 の履修者は、併せてヘルスアセスメント特論 も履修することを強く推奨する。
・本科目は、Web-Learningを活用する。そのため、インターネットにアクセスできる環境を準備しておくこと。

《担当者名》○塚本 容子 [yokot88@hoku-iryo-u.ac.jp]
三津橋梨絵 [mitsuhashi@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

高度実践看護師として必要なヘルスアセスメントのスキルを理論的基盤から学習する。様々な成長発達段階にある患者に対して、包括的に、身体・心理・社会的、そして文化的背景をアセスメントする能力を培う。また、アセスメントした内容から患者の抱える健康課題の解決に向けて、臨床推論を用いて解決方法を見出す方策を学習する

【学修目標】

1. 医療面接を実施し、ヘルスヒストリー（主訴・現病歴・既往歴・家族歴・個人歴・社会歴など）を聴取できる。
2. 患者の包括的（身体・心理・社会・文化）なヘルスアセスメントを行うことができる。
3. フィジカルアセスメント（身体診察）を行うための基本的な技術を習得する。
4. 症状・症候別にフィジカルアセスメントを含めたヘルスアセスメントを行い、臨床推論を用いて臨床的判断につなげることができる。
5. 病歴の聴取、フィジカルアセスメントの結果より個人の抱える複雑な健康課題を明らかにすることができる。
6. 成長発達課題を加味したヘルスアセスメントのスキルを習得する
7. 医療面接およびフィジカルアセスメントで得られた情報を適切に記録できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	臨床現場におけるヘルスアセスメントの目的と高度実践看護師の役割	【講義】 ・ヘルスアセスメントの目的と高度実践看護師の役割 ・ヘルスアセスメント概論（包括的と焦点化されたヘルスアセスメント、医療面接における解釈モデル、フィジカルアセスメント実施の際の配慮など） ・臨床的看護判断の基盤となる臨床推論概論	塚本
2	ヘルスアセスメントの基礎	【Web-learning】（60分） ・ヘルスアセスメントの流れ ・診療プロセス ・得られた情報の記載方法 ・医療面接の基本 課題：医療面接に関するレポート（30分）	塚本 三津橋
3	フィジカルアセスメントの基礎的技術	【Web-learning】（60分） ・フィジカルアセスメントの基礎的技術 上記の内容に関するPost-Test（30分）	塚本 三津橋
4	頭部・頸部・耳・鼻・咽頭部に症状を持つ患者のヘルスアセスメント	【演習】 ・頭部・頸部・耳・鼻・咽頭部の解剖確認 ・頻回に遭遇する症状（耳痛、鼻閉、咽頭痛、リンパ節腫脹など）について、事例を通じてアセスメントを学習 ・検眼鏡・検耳鏡を用いた演習	塚本 三津橋
5 6	胸部に症状を持つ患者のヘルスアセスメント	【演習】 ・胸部の解剖確認 ・頻回に遭遇する症状（胸痛、呼吸困難、咳嗽など）について事例を通じてアセスメントを学習 ・胸部の触診・打診・聴診の演習	三津橋
7	筋・骨格系に症状を持つ患者のヘルスアセスメント	【Web-learning】（60分） ・筋・骨格系の解剖確認	塚本 三津橋

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		・頻回に遭遇する症状（腰痛、関節痛など）について上記の内容に関するPost-Test（30分）	
8	目・神経系に症状を持つ患者のヘルスアセスメント	【Web-learning】（60分） ・神経系の解剖確認 ・頻回に遭遇する症状（頭痛、しびれ、ふらつきなど）について事例を通じてアセスメントを学習 上記の内容に関するPost-Test（30分）	塚本 三津橋
9 ） 10	腹部に症状を持つ患者のヘルスアセスメント	【演習】 ・腹部の解剖確認 ・腹痛を持つ患者について事例を通じてアセスメントを学習 ・腹部の触診・打診の演習	塚本 三津橋
11	皮膚に症状を持つ患者のヘルスアセスメント	【演習】 ・皮膚の解剖学的確認 ・皮膚に症状を持つ患者（発疹、皮膚掻痒感など）について 事例を通じてアセスメントを学習 ・皮膚疾患における視診：簡易の顕微鏡検査についての演習	塚本
12	成長発達課題を配慮したヘルスアセスメント：高齢者	【講義】 ・エイジングに伴う解剖学的・生理学的変化の確認 ・高齢者に配慮したヘルスアセスメント-環境整備、機能評価（高齢者総合的機能評価、老年症候群の評価など）、転倒リスクアセスメント、薬剤の影響 ・事例を通じてアセスメントを学習	三津橋
13	成長発達課題を配慮したヘルスアセスメント：小児	【Web-learning】（60分） ・映像コンテンツ視聴：小児の成長発達課題を基盤としたアセスメント ・映像コンテンツ視聴：小児に多くみられる症状（嘔吐・腹痛・発熱など） ・上記の内容に関するPost-Test（30分）	塚本
14 ） 15	統合演習	【演習】 ・今まで学習したことを統合し、実際の事例を基に医療面接及び身体診察を行う	塚本 三津橋

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

レポート課題 10%
ポストテスト 20%
筆記試験 30%
実技試験 40%

【教科書】

コーチレジ著（2015）. You Tubeでみる身体診察. メディカルレビュー社
福井次矢ら監修（2015）. ベイツ診察法（第2版）. メディカルインターナショナル

【参考書】

随時紹介する。

【学修の準備】

各回の講義前に、事前課題を呈示する。

【学修方法】

計15回の講義の内、10回は対面学習、5回はWeb-Learningとする。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。